

今回の立志式に生徒たちへメッセージをとということでしたので、私がこれまで生きてきて感じた中で、皆さんに伝えたいと思ったことを、私自身の経験上の話を交えて、少しばかり語らせていただきたいと思います。

立志の意味には「将来への目標を定め、これを成し遂げようとする」ということが挙げられています。まず、夢を持ってください。目標目的をしっかりと持って欲しいのです。「夢なき人に目標なし、目標なき人に計画なし、計画なき人に実行なし、実行なき人に成果なし」この言葉は先日、悠季菜の熊本での陸上の練習会で、保護者向けの講習会に参加した時の内容の一部です。普通に解釈すると「夢を持って目標を定め、計画性を持って前向きに実行していくならば成果がある。」ということです。しかしそのように進んで行こうとしても、人は誰でもうまくいかなかったり、落ち込んだりスランプに陥る時があります。私も学生時代から現在に至るまでの間に、様々な苦労や挫折感を味わってきました。そんな時は、「自分よりも、もっと辛い人がある。自分よりも苦しく夢を持つことさえできない境遇にある人がある。」それを思うと「自分はまだマシな方だ、まだ幸せなんだ」と感じる事ができ、乗り越えなければという気持ちになりました。そして自分の信念を持ち続け、目的をしっかりと持っていたから、いろんな道を歩きながらも、今やりたかったことにたどりつけた気がします。皆さんもつまずいた時は、先ほど話したことをちょっぴり思い出してくれたらと思います。

そしてもう一つ。今こうして中学校へ通っていただけることへの感謝の心、そこで出会えた仲間や先生への感謝の気持ちを持ち続けて欲しいということです。私の中学時代の陸上の恩師はとても厳しく、シゴかれてしごかれて、時にはビンタで倒れそうになることもありました。しかし指導は熱心でした。冬場の練習では日没も早くすぐに暗くなってしまう中、ハードルを跳ぶ私たち生徒のために自分の車をグラウンド横まで乗り入れ、車のヘッドライトで光を照らし続け、見えないハードルが見えるようにして、安全に練習させてくださいました。今となればきつかった思い出よりも、強くしてくださったというありがたさの気持ちの方が大きく占めています。天草高校に進むと中学とは違い勉強もかなり大変になり、両立も難しく体もへとへとな毎日。陸上も勉強もやりたくないと思うことも多くありました。しかし当時の高校で、県下でもトップクラスの名指導者に出会えたこと。チームとしても男子が県高校総体で熊本ナンバーワンとなり総合優勝。ほとんどのメンバーが全国を目指して励んでいました。そんなアスリート集団の中に在籍し、素晴らし恩師や仲間にも恵まれたこと。そのおかげで今の自分がいるのだと思っています。

娘の悠季菜のことでいえば、中学で当たり前のように勉強を教えていただいていること。陸上に関しては特設陸上部のあるシーズン以外では野球部の一員となり、男子生徒と一緒に

に練習をさせてもらっていること。一緒に走ってくれる男子メンバーや指導してくださる先生に感謝です。今年こそ全国大会まで行けたら良いですね。

皆さん、これから訪れるこの一度しかない時間を、目標を持って前へ進んで行ってください。時には失敗することもあるかもしれませんが、しかし失敗した過去は変えられませんが、失敗から学び得た経験を生かしつつ、やり直したり、良いものへと変えることはできます。私の友人には一度社会へ出て働きながら夜間の学校へ通ったり、通信教育で大学卒業の資格を取った人がいます。私だってこの年になっても仕事に関することやら、陸上競技に関するいろんな活動に対して様々な野望を持っています。皆さんはまだ若くこれから数多くの可能性が満ち溢れています。長くなりましたが今日ここで話した「夢を持ち目標・目的をしっかり持って計画性を持ち前向きに実行していく」この心構えを感謝の心を持って毎日送れば、きっとこの先ステキな大人へと成長されることと思います。そして大人になっても生きている限り毎日が人生。どんなに年を重ねていっても常に夢を持っていられるような大人になってくれることを願っています。

私は悠季菜の母で皆さんの親ではありませんが、人として皆さんの約 3 倍程度長く生きてきた一人の人生の先輩としてメッセージを送ります。最後になりますが「夢に向かって頑張ってください」

終わります。